

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」江別野幌校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2026年 1月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2026年 1月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育による児童に合わせた支援	お子さん一人ひとりの発達・行動面に合わせた個別支援計画を作成し、プログラムを組んでいます。遊びを通して、人とのコミュニケーションや達成感を体験していけるように工夫します。	障がい特性に合わせた療育内容や個別的な配慮、環境への工夫を行いお子様や保護者様が満足して頂ける様にしています。
2	保護者とお子様へのご相談	必要に応じて相談支援を行っています(加算対象)各関係機関との連携やこどもを取り巻く環境体制を整えること、保護者の方と交流を深め、お子さんをより理解していきます。	ご気軽にご相談できる様に、日頃からお子様のご様子や家庭や学校での様子を確認しながら保護者様とお話させて頂いております。相談しやすいような環境や保護者様との関係作りも大切にしています。
3	定期的な療育プログラムの見直し	定期的(6ヶ月に1回以上)な計画の見直しをすることでお子さんの成長を感じていただけるよう支援しています。課題の見直しの際には、保護者様のご意見も伺い、計画書に反映しております。	日々のお子様の療育プログラムの中で「できた」「もう少しできそう」等を保護者様にご説明をし、お子様の様子や情報を共有することで、納得して頂けるようなプログラムの見直しを行います。少しでもお子様の困り感が解消でき、さらに一人でも出来る事が増える様に支援していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流の機会	開所して間もないこともあり、まだ交流の機会を設定できておりません。普段は個別療育での対応を基本としている為、保護者様同士でお話や相談する場面がありません。	保護者様同士の交流会や研修等を行いながら、障害特性や家庭での困りごとや育児の苦悩等を相談し合い、少しでも保護者様の負担が軽減出来る機会提供をしていきたいと考えております。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「クラ・ゼミ」江別野幌校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

5名

回収数

4名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	0	1	0	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	0	2		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	0	3		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	0	0	1		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」江別野幌校		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		必要に応じて衝立を利用して調整出来る様しております。 法令を遵守してスペース確保を行っています。 お子様が活動しやすいスペースを設定しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		法令を遵守して配置数を確保しております。 配置基準を満たしての運営をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		ビル内にエレベーターが設置されている為、必要に応じて利用できるようになっている。教室内も段差を最小限にする事でバリアフリー化を図っております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃、消毒、整理整頓に努めております。 毎日の清掃や消毒を実施しております。活動に合わせて環境設定が出来る様になっております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室がありお子様のクールダウンが出来る様になっています。パーティションで区切ることで個別の部屋を確保しています。音や視覚から情報を遮断出来て、落ち着ける個室もあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的にミーティングを実施して、目標設定と振り返りを行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		新設校の為、現在把握している段階です。	集計後に保護者様の意見を基に業務の改善に努めていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に意見交換を行い、業務改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行われていないが、社内の定期的な内部監査により法令順守を徹底しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修（月1回程度）に参加しています。 資質の向上を図っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		開所後にHPIにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		契約時に保護者様やご本人のニーズを聞きとり、アセスメントを実施して支援計画書を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当者会議を実施して共通理解を図り作成しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画書に基づき、支援を提供しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		会社のアセスメントツールを活用しています。それを基にアセスメントを行っております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに基づき設定しております。ねらいに関しても5領域のねらいも踏まえながら保護者様ニーズにお応えしております。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別療育を基本としている為、担当指導員がプログラムを設定している。目的がぶれない様に引継ぎや内容も共有しながら組み立てている。小集団やイベントの際には話し合いを行っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		発達段階やご本人のニーズや保護者様のニーズに合わせてプログラムを設定しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育を基本としているが、小集団からの活動の設定もしながら行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時に打合せを行っている。その日の情報共有や役割や担当の確認をして情報交換を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後には振り返りを行っております。	ご本人の活動の内容や気づいた点などを考えて次に繋げていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録の入力を徹底しております。	見直しを行い、実際の現在の支援の確認や次に生かせるように繋げていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		開所して間もない為、モニタリングが対象している児童がいない。モニタリングの時期の際には実施して、計画の見直しを行っていきます。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		発達の段階や課題に応じた4つの基本活動を組み合わせ支援プログラムを設定しております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		ご本人の特性に応じて、自己決定出来るようアプローチしております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		現時点では関係機関との会議には参加していないが、必要に応じて参加をしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様のニーズがあればご要望に応じて連携していきます。	関係機関と情報交換や連携出来る様な交流を図りながら進めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様のニーズがあればご要望に応じて連携していきます。	関係機関と情報交換や連携出来る様な交流を図りながら進めていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者様のニーズがあればご要望に応じて連携していきます。	関係機関と情報交換や連携出来る様な交流を図りながら進めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者様のニーズがあればご要望に応じて連携していきます。	関係機関と情報交換や連携出来る様な交流を図りながら進めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じてご指導頂ける様に連携を図っていきます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		必要に応じて関わる機会が必要とされる場合は交流を図っていきます。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		現時点では地域の中で他の子どもと活動する機会はありません。	こども部会の参加を予定しておりますので情報の交換を行いながら地域課題の解決に取り組んでいきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバック時に保護者様に状況をお伝えして、お子様の障害特性や課題等の情報交換を行い共通の理解を図っております。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族に対する支援の機会を設定していません。ご家庭での困り感の解消やご本人へのアプローチの仕方はフィードバックの際に良い方法を提案させて頂いております。	家族の方への療育の仕方や家族への研修等も実施出来るような体制作りを行っていきます。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明をさせて頂いております。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時に保護者様の要望をお聞きしております。ご本人の主旨も確認しながら意向を確認しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画時には支援の内容を説明させて頂き、同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて相談援助を行い、お子様の悩みや相談を聞き対応させて頂いております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	保護者様の交流できる機会は行っておりません。	必要に応じて保護者様同士の交流の機会や相談できる機会の設定を検討して実施出来る様にしています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応できるように苦情のマニュアル等を整えております。	相談がある際には真摯に受け止めて適切に回答してまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログやInstagramを用いて活動の様子を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いに関しては、個人情報の取り扱いについての同意書に基づいて、適切に扱いをしております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		具体的に丁寧に説明することで理解して頂ける様に配慮しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	体験会のお知らせをInstagramで発信したり、各商業施設や相談支援事業所にリーフレットを設置させて頂いております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定している。訓練に関しても適切に実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP計画を策定している。研修や訓練も行い、非常時に備え実施出来る様にしております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認している。食品のイベントの際には、アンケートを実施して把握を行っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定している。研修や訓練も実施しております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		周知を行い、安心して来所頂ける様にしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員全体で共有を行い、再発防止に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止の研修や訓練に参加しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束に関する研修の実施。契約時には身体拘束が必要な際の手続きの内容をご説明しております。必要なお子様がいる場合には、個別支援計画と保護者様の同意を得て進めております。		